

事業名	関係団体との連携と各種施設の有効利用	評価実施者	所 属 社会教育課スポーツ振興室 職・氏名 室長 坪田 健一
-----	--------------------	-------	-----------------------------------

事業の概要	開始年度	根拠法令等			特定財源	文部科学省委託3,414千円
	実施方法	■ 直接 ■ 委託 ■ 補助 □ 負担金 □ その他〔				

事業コスト	区分	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	特記事項
	事業費(A)						
	うち一般財源						
	人件費(B)						
総コスト(A)+(B)		0	0	0	0	0	※単位：千円

実績と成果	区 分		単位	H16	H17	H18	H19	H20	左記以外の19年度の実績・成果 ①文部科学省調査事業受託により、おおぞら幼稚園、江部乙保育所、二の坂保育所、中央保育所の幼児151人を対象に体力向上の取り組みを推進した。(3年間事業)	
	事業の実績 (アウトプット)	1	体育協会加盟数	団体	31	31	31	30		28
		2	文部科学省事業対象幼児	人	—	—	—	151		
		3	サイクリングターミナル合宿受入件数	件	5	9	18	18		
		4	サイクリングターミナル合宿受入人数	人	189	333	493	1,308		
	事業の成果 (アウトカム)	1								
		2								

評価項目	点数	判定及び説明・考察
1 適応性	8	①市民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。 ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 ②事業を市が行う必要性があるか。 ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 スポーツ施設の約90%近くを指定管理による一元管理・運営を進めている。 また、文部科学省調査「幼児期の基礎体力向上」事業を受託し、市内幼児に運動の楽しさを体験してもらい、小学校に入学後に運動好きの児童増加を目指すとともに、保護者にも日常の運動の大切さや重要性を知ってもらい、家庭での生活習慣改善意識の向上を図った。
	8	③事業の目的に照らして効果的な手法か。 ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 ④施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。 ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 スポーツ施設の管理運営は、指定管理による効率的な一元管理により、貸館業務や情報発信など市民サービスの向上を図ることができた。 また、直営の温水プールは、水泳協会と連携を図り、各種教室等の開催により健康・体力づくりの充実化を図った。
3 目標達成度	7	⑤目標の水準は適切か。 ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 ⑥計画通りに目標を達成できたか。 ☐ 4 ☒ 3 ☐ 2 ☐ 1 (財)滝川市体育協会並びに加盟団体との連携と育成支援を図ってきたが、各団体の後継者不足等の理由で脱退する団体があった。 また、誘致した全日本早起き野球大会の開催に向けて石狩川野球場等の整備を行った。
	8	⑦コストは縮減しているか。 ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 ⑧事務は効率的に行われているか。 ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 指定管理者制度の継続で、スポーツ施設の効率的な運営管理とサービス向上を図ることができた。 また、平成19年度は、大学・高校のスポーツ合宿の誘致を行い、運動施設とサイクリングターミナルの利用促進を図った。(合宿受入人数は前年度比265.3%)
4 経済性効率性	8	⑦コストは縮減しているか。 ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 ⑧事務は効率的に行われているか。 ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 指定管理者制度の継続で、スポーツ施設の効率的な運営管理とサービス向上を図ることができた。 また、平成19年度は、大学・高校のスポーツ合宿の誘致を行い、運動施設とサイクリングターミナルの利用促進を図った。(合宿受入人数は前年度比265.3%)
総合評価	合計 31 ↓ 100点換算 97	ランク (A~E) A 上記評価を踏まえた事業の課題 ①老朽化したスポーツ施設の計画修繕または廃止・統合・新築などの検討が必要である。(温水プール・市民プールなど) ②各スポーツ施設の利用料金見直しの検討が必要である。(受益者負担の検討) ③(財)滝川市体育協会加盟団体の育成支援・強化が必要である。 ④特に利用の少ない曜日や時間帯の利用増を図る必要がある。 ☒ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☐ 質的向上 ☐ スピードアップ ☐ 検証 ☐ 現状維持

◎外部評価

評価項目	点数	判定	点検・評価に関するコメント
1 適応性	8	① ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 ② ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	合計 31 ↓ 100点換算 97 ランク A 中部大学等の合宿利用がまだあると思うので、宿泊施設の食事や施設の充実を図り、利用しやすい管理を行うことが必要である。利用しやすい施設管理を行うために、施設整備のプロ指導を受けることも一つだと思う。
2 有効性	8	③ ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 ④ ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	
3 目標達成度	7	⑤ ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 ⑥ ☐ 4 ☒ 3 ☐ 2 ☐ 1	
4 経済性効率性	8	⑦ ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 ⑧ ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	